

動物用医薬品

要指示医薬品

エストリオール水性懸濁注射液
動物用 **ホーリン**® 50
HOLIN®

貯法：室温で保存してください。
使用期限：包装に表示の使用期限内に使用してください。

※ 承認番号 16 消安第 10589 号

エストリオールは卵胞ホルモンの一種であり、生体内では胎児の成長に伴い生成量が増加し、妊娠末期に最も多く生成されます。エストリオールは子宮体部よりむしろ頸部に作用し、頸管の開大と頸管腺の分泌を旺盛にし、分娩を容易にします。

【組成・性状】

販売名	動物用ホーリン50
成分・含量	1 mL中エストリオール5 mg
添加物	1 mL中マクロゴール4000 30mg, ポリソルベート20 4mg, ベンジルアルコール 0.015mL, pH調整剤, 等張化剤
剤形・性状	バイアル(振り混ぜるとき白色の水性懸濁注射液)
pH	4.5 ~ 7.5

【効能・効果】

牛（雌）：子宮頸管の弛緩

【用法・用量】

通常1回1頭当たりエストリオールとして、下記の量を筋肉内に注射する。

牛（雌）：10 ~ 20 mg

【使用上の注意】

1. 一般的注意

- 本剤は要指示医薬品であるので獣医師の処方せん・指示により使用してください。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守してください。
- 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療のみ使用してください。

2. 使用者に対する注意

- 誤って人に注射した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 使用した後、あるいは使用者の皮膚に付着したときは、石けん等でよく洗ってください。
- 妊娠中又は妊娠している可能性のある女性には、注射作業を行わせないでください。

3. 対象動物に対する注意

(1) 制限事項

本剤の投与前には健康状態について検査し、異常を認めた場合は投与しないでください。

(2) 副作用

本剤の有効成分であるエストリオールは、発がん性及び催奇形性を示唆する報告がある。

(3) 適用上の注意

- 本剤は用時振盪し、均一化させて使用してください。
- バイアル開封後は速やかに使用してください。

4. 取扱い上の注意

使用済みの空容器等は適切に処分してください。

5. 保管上の注意

- 小児の手の届かないところに保管してください。
- 本剤の保管は直射日光及び高温を避けてください。

【薬理作用】

- 子宮腔部及び頸部を軟化させるが子宮肥大作用は弱い（ラット¹⁾、モルモット²⁾）。
- 腔粘膜上皮の肥厚・増殖、血管形成を促します（マウス³⁾、ラット¹⁾）。
- 子宮頸部のアミノ態窒素およびリンの取込みを増加させます（モルモット²⁾）。
- 子宮頸管の収縮性緊張を抑制し頸管内圧を低下させます（ラット⁴⁾）。
- 脳下垂体性ゴナドトロピンの分泌を抑制します（ラット⁵⁾）。
- 子宮頸管開大不全時に頸管の開大が認められます（ウシ⁶⁾）。
- 子宮頸管開大により胎盤とミイラ化胎児の排出が認められます（ウシ⁷⁾）。

【有効成分に関する理化学的知見】

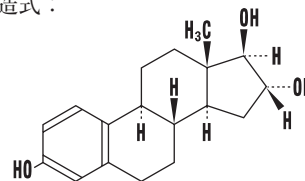
一般名：エストリオール

Estriol [JAN]

化学名：Estra-1, 3, 5(10)-triene-3, 16 α , 17 β -triol

分子式：C₁₈H₂₄O₃

化学構造式：



分子量：288.38

融点：281 ~ 286 °C

性状：白色の結晶性の粉末で、においはない。メタノールにやや溶けにくく、エタノール（95）又は1,4-ジオキサンに溶けにくく、水又はジエチルエーテルにはほとんど溶けない。

【包装】

動物用ホーリン50：10 mL × 1（バイアル）

【主要文献】

- Overbeek, G. A. et al.: Acta Endocrinol., **27**: 73, 1958
- 安藤 晴弘 他：産婦人科の世界, **14**: 1557, 1962
- Nicol, T. et al.: J. Endocrinol., **34**: 377, 1966
- 九嶋 勝治 他：産婦人科の世界, **13**: 165, 1961
- 高木 繁夫 他：ホルモンと臨床, **9**: 145, 1961
- 新橋 偉雄：家畜診療, **56**: 40, 1966
- 三宅 勝 他：日本獣医師会雑誌, **18**: 510, 1965

※【文献請求先】

あすか製薬株式会社 アニマルヘルス部
〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号

※製造販売元

あすか製薬株式会社

東京都港区芝浦二丁目5番1号